

会員のみなさま

公益社団法人東広島市シルバー人材センター
理事長 山本 辰也

新型コロナウイルス感染拡大対策と就業中等の「熱中症予防」について（お願い）

日頃から当センターの事業運営にご理解、ご協力いただき誠にありがとうございます。

東広島市内において8月12日に新たに3例目の新型コロナウイルス感染症患者が確認されました。会員のみなさまにおかれましても感染防止対策の3つの基本である①身体的距離の確保②マスクの着用③手洗いや「3密（密集、密接、密閉）」を避けるなどの『新しい生活様式』を実践してください。

また、毎年、全国的に熱中症にかかる人が急増する7月から8月を政府は「熱中症予防強化月間」と設定し注意喚起をしています。当センターとしましては、政府の発令および厚生労働省による「新しい生活様式における熱中症予防行動のポイント」に加え「クールワークキャンペーン」に基づき、感染症対策下における熱中症の予防について、下記のとおり会員のみなさまに就業中等での対応をお願いします。

当センターとしましては、「事務局だより」、当センターホームページにて新型コロナウイルス感染防止に係る注意喚起を行ってきました。この度は、更に熱中症対策についての呼びかけになりますので、会員のみなさまのご理解、ご協力をお願い申し上げます。

なお、派遣事業におきましては、派遣先と協力して感染防止などに努めてください。

記

1. 就業中の熱中症対策について

(1) マスク着用時の注意

- ①強い負荷がかかる就業時は、他の会員の距離（2メートル以上）を確認後、マスクを外して就業を行ってください。
- ②3密（密集、密接、密閉）な場所での就業時は、マスクを着用してください。その際、適宜、周囲の会員との距離がとれる場所でマスクを外してください。
- ③マスクの着用により加湿されるため、のどの渇きを感じにくくなります。のどが渇いていなくても、こまめに水分補給を行ってください。

(2) 猛暑の中での就業時の注意

- ①暑さになれるまでは、軽く汗をかく程度に体調に合わせた作業を心がけてください。

(3) 室内での就業時の注意

- ①人が集まる室内では、新型コロナウイルス感染症を予防するため適宜換気を行ってください。換気後は、エアコンの設定温度を下げ室内の温度を下げてください。

2. 就業時外の熱中症対策について

(1) 暑さを避ける

- ①室内では、暑さを我慢せずエアコンや扇風機などを使用してください。
- ②暑い時間帯の外出や活動を避けるなど、無理のない範囲で活動してください。

(2) こまめに水分補給をする

- ①起床時や入浴時、外出前後など水分（1日1.2リットル目安）を摂るようにしてください。

(3) 涼しい服装を心がける

- ①ポリエステルなどの速乾素材の服、体を締め付けない通気性の良い服、帽子や日傘を活用してください。